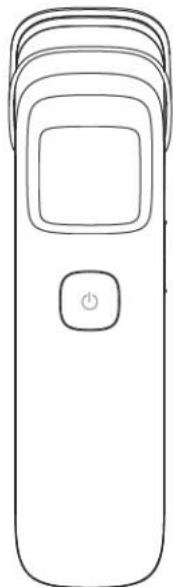


非接触体温計

フォラケア・サーフスキャン

## 取扱説明書

本書および添付文書をよくお読みのうえ、  
正しくお使いください。



## 使用上の注意





### 【禁忌・禁止】

1. 本品による体温測定結果のみで病状の判断を行わないこと
2. 分解、修理、改造等を行わないこと

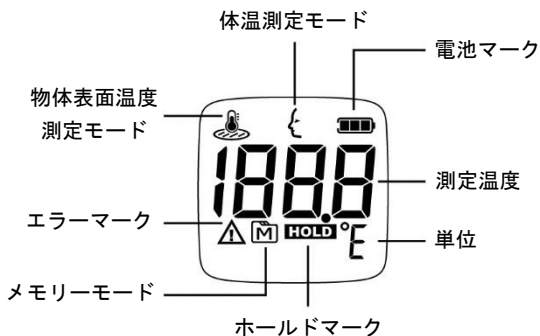
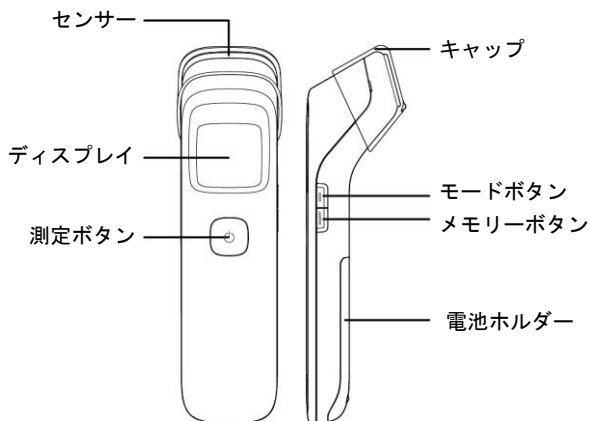
### 【注意】

- ・ 体温測定は額で行うこと
- ・ 本品は額で測定した温度を口腔温に変換して表示する  
腋下温とは異なるため、あらかじめ本品で測定した  
際の平熱を把握しておくこと
- ・ センサーに触れたり息を吹きかけたりしないこと
- ・ 使用しないときはキャップを着けて保管すること
- ・ 温度変化の影響を受けやすいため、測定前に長時間  
本体を持ち続けたり冷やし続けたりしないこと
- ・ 落下させたり強い衝撃を加えたりしないこと
- ・ 電磁波や電波を発生する機器に近づけないこと
- ・ 可燃性ガスの近くや高酸素濃度下では使用しないこと
- ・ 小さなお子様だけで使わせたり幼児の手の届く所に  
保管しないこと
- ・ 動かなくなったり異常を感じた場合はすぐに使用を  
中止すること
- ・ 本品や使用済みの電池は各自治体の規定に従い適切  
に処分すること

## 記号の意味

	<p>&lt;注意&gt; 誤った取り扱いをするとケガや物的損害の発生が想定される内容を示す</p>
	<p>操作指示に従うこと</p>
	<p>電撃保護：BF 形装着部</p>
	<p>直流電源</p>

## 各部の名称

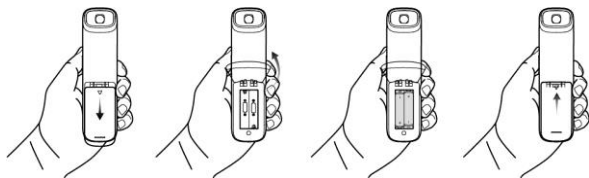


## 性能

1. 測定範囲  
体温：32.0～43.0℃（口腔温換算値）  
物体表面温度：0.0～100.0℃
2. 最小表示単位：0.1℃
3. 使用環境  
10℃～40℃、湿度 95%RH 以下（結露しないこと）

## 電池を入れる

1. 電池ふたをスライドさせて開く
2. 向きに注意して単4形アルカリ乾電池2本を挿入する
3. 電池ふたを閉める



同じ種類の電池を使用すること  
（種類やサイズが異なるものを混用すると  
液漏れや破裂を起こすことがある）  
長期間使用しないときは電池をはずして保管  
すること


## 体温を測定する

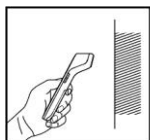
1. キャップを取りはずす
2. 額上の毛髪や汗を取りのぞき、センサーを額から 5cm 程度の距離で垂直になるように向ける
3. 測定ボタンを押すと電子音が鳴って測定され、結果が表示される
4. 電源は約 30 秒後に自動的に OFF になる



⌘ マークが表示されていることを確認する  
Lo : 測定結果が 31.9°C 以下  
Hi : 測定結果が 43.1°C 以上  
測定結果が 38.0°C 以上の場合、バックライト  
が赤く点灯する

## 物体表面温度を測定する


1. キャップを取りはずす
2. 測定ボタンを押して電源を ON にする
3. モードボタンを押して物体表面温度測定モード  
(マーク) に切り替える
4. センサーを測定したいものから 5cm 程度の距離で垂直になるように向ける
5. 測定ボタンを押すと電子音が鳴って測定され、結果が表示される  
測定ボタンを押したままにするとホールドマークが点滅し、連続測定ができる
6. 電源はボタンを離してから約 30 秒後に自動的に OFF になる



Lo : 測定結果が 0.0°C未満  
Hi : 測定結果が 100.1°C以上

## メモリーモード

以下の手順で過去の測定結果を確認できる

1. 測定ボタンを押して電源を ON にする
2. メモリーボタンを押すとメモリーモード（マーク）になり、最新の測定結果が表示される
3. 続けてメモリーボタンを押すごとに測定記録がさかのぼって表示される
4. 電源はボタンを離してから約 30 秒後に自動的に OFF になる



最大 30 件まで記録される  
30 件を超えた場合、古い記録から順に消える

## クリーニングと保管

本体に汚れがあるときは、乾いた柔らかい布で拭きとる  
センサー部に汚れがあるときは、消毒用アルコールを浸した綿棒でやさしく拭きとる


直射日光および高温多湿を避け、清潔な場所で保管すること



研磨剤や有機溶剤は使用しない  
蒸気や熱湯による消毒は行わない



## エラー一覧

表示	内容	対応
E-1 E-2 E-4	使用環境が規定範囲外	以下の環境で再度測定を行う ・ 10°C~40°C ・ 湿度 95%RH 以下
Lo	測定結果が測定可能範囲よりも低い	測定可能範囲は以下のとおり 体温：32.0~43.0°C 物体表面温度： 0.0~100.0°C
Hi	測定結果が測定可能範囲よりも高い	
	電池残量不足	新しい電池に交換する

## 仕様

寸法	155mm(縦)×40mm(横)×39mm(厚さ)
重量	62g(電池を含まない)
電源	単4アルカリ乾電池2本(DC 3V)
測定範囲	体温: 32.0~43.0°C(口腔温換算値) 物体表面温度: 0.0~100.0°C
最小表示単位	0.1°C
測定精度 (体温)	35.0~42.0°C: ±0.2°C 34.9°C以下および42.1°C以上: ±0.3°C
測定時間	約1秒
電撃保護	内部電源機器、BF形
水又は粒子物質 の有害な浸入に 対する保護	IP22
電磁両立性	IEC 60601-1-2:2014 に適合
使用環境	10°C~40°C 湿度 95%RH 以下(結露しないこと)
保管条件	-20°C~60°C 湿度 95%RH 以下(結露しないこと)
メモリー	最大 30 件

製造販売業者:

株式会社フォラケア・ジャパン

東京都港区新橋 5-10-8 FORA ビル

TEL: 03-6452-8642

受付時間: 土日祝日を除く 10:00~17:00

## EMC 技術資料

本品は医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格 IEC 60601-1-2:2014 に適合しています。

EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。規格の要求に従い、EMC に係る技術的な情報を以下に記載します。

### EMC（電磁両立性）について

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・ 周辺の他の電子機器に、許容できない傷害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- ・ 周辺の他の電子機器から出されるノイズ等の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

### EMC（電磁両立性）に係る技術的な説明

医用電気機器は次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

#### 注意

- ・ 本品は電磁両立性（EMC）に関して特別な注意が必要であり、本書に記載された EMC 情報に基づいて使用しなければならない。
- ・ 本品は携帯および移動無線周波（RF）通信機器により影響を受けることがある。
- ・ 他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。

本品は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。このような環境内で使用されることを確認することが望ましい。

表 1 ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁エミッション-

エミッション試験	適合性	電磁環境-指針
RF エミッション CISPR11	グループ 1	本品は内部機能のためだけに RF エネルギーを使用しているため RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。

RF エミッション CISPR11	クラス B	本品は次を含む全ての施設での 使用に適する。 家庭用施設、および家庭目的に使用 される建物に電力を供給する 公共の低電圧用の配電網に直接 接続された施設
高周波エミッション IEC 61000-3-2	非適用	
電圧変動／フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	非適用	

表 2 ガイダンスおよび製造業者による宣言 ー電磁イミュニティー

イミュニティ 試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境ー指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	接触 ±8kV 気中 ±2, 4, 8, 15kV	接触 ±8kV 気中 ± 2, 4, 8, 15kV	床は木材、コンクリ ート又はセラミック タイルであること が望ましい。床が 合成材料で覆われ ている場合、相対湿 度は少なくとも 30%であることが 望ましい。
電氣的ファースト トランジェント/ バースト IEC 61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出カライン	非適用	非適用
サージ IEC 61000-4-5	0.5, 1kV ライン間 0.5, 1, 2kV 常規対地	非適用	非適用
電源入力ラインで の電圧ディップ、 短時間停電および 電圧変動 IEC 61000-4-11	ディップ 0%U <sub>T</sub> : 0.5 サイクル 0%U <sub>T</sub> : 1 サイクル 70%U <sub>T</sub> : 25/30 サイクル 停電 0%U <sub>T</sub> : 250/300 サイクル	非適用	非適用

電源周波数 (50/60Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30A/m	30A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同じレベルの特性を持つことが望ましい。
---	-------	-------	---

U<sub>T</sub> : 試験レベルを加える前の交流電源電圧

表4 ガイダンスおよび製造業者による宣言 — 電磁イミュニティー

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル
伝導 RF IEC 61000-4-6	3Vrms 0.15MHz-80MHz 6V/m 0.15MHz-80MHz 80%AM, 1kHz	非適用  非適用
放射 RF IEC 61000-4-3	10V/m 80MHz-2.7GHz 80%AM, 1kHz	10V/m 80MHz-2.7GHz 80%AM, 1kHz
<p>電磁環境—指針</p> <p>携帯形および移動形 RF 通信機器は、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。</p> <p>推奨分離距離</p> <p>d=1.2</p> <p>d=1.2 80MHz-800MHz</p> <p>d=2.3 800MHz-2.5GHz</p> <p>P : 送信機製造業社によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力定格</p> <p>d : メートル (m) で表した推奨分離距離</p> <p>電磁界の現地調査<sup>a)</sup>によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲<sup>b)</sup>における適合レベルよりも低いことが望ましい。</p> <p>上の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じるかもしれない。</p>		

注1 80MHz および 800MHz においては高い周波数範囲を適用する。

注2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。

建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。

- a) 無線（携帯／コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放送等の固定送信機からの電界強度を正確に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。本品が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用される RF 適合レベルを超える場合は正常動作するかを検証するために監視することが望ましい。異常動作が確認された場合には、再配置又は再設置のような追加対策が必要になることがある。
- b) 周波数範囲 0.15MHz-80MHz、電磁界強度 3V/m 未満であること。

表 5 携帯形および移動形 RF 通信機器と機器又はシステムとの間の推奨分離距離

本品は放射 RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。通信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形および移動形 RF 通信機器（送信機）と本品との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立つ。			
送信機の 最大定格 出力電力 W	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150kHz~80MHz $d=1.2\sqrt{P}$	80MHz~800MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800MHz~2.7GHz $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	非適用	0.12	0.23
0.1	非適用	0.38	0.73
1	非適用	1.2	2.3
10	非適用	3.8	7.3
100	非適用	12	23
上記以外の最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力である。			

注 1 80MHz および 800MHz においては高い周波数範囲を適用する。

注 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。  
建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。